

## だれでも自己PRを考えられる 3つの発想ポイントがある

坂本 ただなかには、本当に頑張ってきた学生もいるわけなんです。同じ大学4年間でも、すごい勉強してきた人もいれば、ぼやっと過ごしちゃった人もいます。

——ぼやっと過ごした人もどうにかなる方法はないでしょうか……。

坂本 結論から言うと、すごい勉強や経験をした人にはかなわないんです。

——まあ、そうですね……。

坂本 TOEIC990点とっていてビジネス英会話もできるという人もいますし、英語だけじゃなくフランス語も話せるなんて人もいます。海外に留学して留学先で成績ナンバーワンとか。

——努力のたまものですね。それはかなわない。

坂本 そういう人にアルバイトやサークルなどの経験で勝つのはなかなか難しいんです。とくに実践的なスキルを求めるグローバル系企業の採用では。

——受ける企業を選ぶ時点で考慮したほうがいいですね。ハイレベルな戦いが予想されるグローバル系企業や超大手企業は避けるしかない。しかし、そこでお聞きしたいのが、**3つ目の悩み**「**そもそもアピールできることがない**」です。一般的な学生でも志望企業に入りたいんです！

坂本 一般的な学生が人気企業に入る具体的な方法ということですね？

——そうです。特別な経験はしていない、サークル活動もそこそこ、アルバイトもしていなかったり、勉強もギリギリだったという人もいます。そう

—— いう学生でも有名企業に入るためにはどうすればいいですか？

坂本 もちろん方法があります。まず、1つ目。大学時代の経験にアピールできることがない人は、中学、高校生のときの経験をアピールしましょう。

—— そんな昔のことでいいんですか？

坂本 大丈夫です。自信をもって伝えてください。そのころの経験がいまの自分の土台をつくったという形で伝えると、高評価が得られます。「いまの自分を形成したのは、中学生のときにやっていた○○というスポーツです。そこで身につけたことを活かして、大学ではこういうことをやってきました」と。大学での部分は、大きな実績がなくても取り組んだことを言えば大丈夫です。

—— 忍耐強さとか努力家ですというアピールができそうですね。

坂本 さらにさかのぼって、スイミングスクールとか書道など、小学生のときにやっていたことや努力していたことでも大丈夫です。

—— そこまで昔のことでも本当に大丈夫なのでしょう？

坂本 もちろん大丈夫です。「私は小学生のころから頑張っている」「小学生のころから努力する習慣を培った」という具合にアピールすれば、印象は違うと思いませんか？

—— 長いスパンで人生を振り返り、各年代でいろんな着眼点からアピールするということですね。

坂本 2つ目は、行動力の高さを長所としてアピールし、その具体例として、就職活動での行動を挙げる方法です。たとえば、何社の企業にインターンの応募をしたとか、何人にOB訪問したとか。就職活動での徹底的な行動を、行動力の事例としてアピールしていくんです。

—— それなら、就活がはじまってからでもできますね。

坂本 そして3つ目は、資格の勉強です。

——間に合いますかね？

坂本 間に合わないことが多いのですが、意欲のアピールになるので効果があります。

——勉強中でもいいってことですね。

坂本 その企業や職種で役立つ資格を調査し、入社に向けて頑張って勉強しているという姿勢を伝えることが大切です。そして、2、3の資格に挑戦しながら、簡単にとれる資格を実際に1つはとるんです。1、2日の講習でとれるものや、ネット受講でとれる資格もありますからね。たとえば食品業界だったら、食品衛生責任者。この資格は1日の講習でとれます。救命技能認定証も半日の受講でとれちゃいます。そうすれば、「〇〇は勉強中、〇〇は取得済み」と言えます。

——必要な技能をちゃんと調べて行動しているという点では、何もしていない人よりは評価できますね。

坂本 そうなんです。その企業や仕事に必要な資格を調べたという熱意、そして実際に勉強をはじめた行動力。この大事な2点をアピールできるんです。これを、他の方法に加えてやってもらいたいですね。

——そうすれば、これまでに紹介した方法と合わせて3つはアピールポイントができますね。